

番組スケジュール

	11:00～	13:30～	15:00～
平日		ルネサンス	ドラえもん
土曜・祝休日 春・夏・冬休みの平日	ドラえもん	ルネサンス	ドラえもん
日曜日	ドラえもん (★星空生解説)	ルネサンス	ドラえもん

★各回星空解説あり。日曜日11時の回のみスタッフによる生解説を行います。
※投影開始後の入場はできません。

天体観望会の予定

月	日	曜	観望する天体	受付開始日
6	20	金	19:30～20:45 ヘルクス座球状星団(M13)	6月10日(火) 10時～
	21	土	こと座のダブル・ダブルスター(四重星)	
7	25	金	19:30～20:45 ヘルクス座球状星団(M13)	7月15日(火) 10時～
	26	土	はくちょう座のアルビレオ(二重星)	
8	22	金	19:30～20:45 はくちょう座のアルビレオ(二重星)	8月13日(水) 10時～
	23	土	こと座のリング状星雲(M57)	

どなたでも参加できますが、夜間の開催のため中学生以下は保護者の同伴が必要です。参加料/無料 定員/40名(各日先着)
※詳しくは、一宮地域文化広場へお問い合わせください。

観覧料(1人につき)

区分	料金
個人	
大人	300円
小人 (中学生以下)	100円
団体 (30名以上)	
大人	200円
小人 (中学生以下)	70円

※1歳未満のお子様は無料となりますが、保護者の膝の上での観覧をお願いします。

一宮地域文化広場 プラネタリウム館

〒491-0002 愛知県一宮市時之島字玉振1番地1

TEL (0586) 51-2180

東経136°51'4" 北緯35°19'

休館日

- ★月曜日(月曜日が祝休日のときは、その翌日以後で最も早い休日でない日)
- ★番組組替時[9月2日(火)～5日(金)]までは休館
- ★12月28日～翌年1月4日までは年末年始休館

ルネサンス

天文学に新たな変革が訪れるー

華やかな芸術文化が開花したルネサンス期。天文学の世界も地球中心説から太陽中心説へと変わりつつありました。そのきっかけの一つが天体望遠鏡です。そして今、新たな「ルネサンス」を迎えています。肉眼の観測で宇宙を探っていたティコ。地動説を確実なものとしたケプラー。偶然発明された望遠鏡とそれを使ったガリレオの新たな発見の連続。反射望遠鏡を発明し望遠鏡の革新をもたらしたニュートン。地上で活躍する大型望遠鏡やハッブル宇宙望遠鏡。そして新たな天文学を切り開くジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡など、400年の時を越えた人類の探求心を描いていきます。



© NASA, ESA, CSA, STScI, Webb ERO Production Team / ESO / Space Engine / @800000ji / Altair LLE

団体専用番組

たなばたものがたり いなかのねずみと町のねずみ

ようじ 幼児におすすめのスライド番組です。
ものかたり ほんぐみ 「なつのほしぞらさんぽ」といっしょに物語をお楽しみください。



団体専用番組

それいけ!アンパンマン 星空をかせせ

アンパンマンと一緒に
ほしぞら いたの
星空を楽しもう!
なつ せいぜん
～夏の星座編～

© やねせたかし / プレーベル館・TMS・NTV



※「団体専用番組」観覧希望の団体様はお電話にてご予約ください。

- ◆平日/10:00～、11:00～
- ◆土曜・日曜・祝休日・春・夏・冬休みの平日/10:00～



バスご利用の場合

- 名鉄一宮駅バスターミナルより
- 大山町経由/江南駅行き・江南団地行き 金比羅前下車 徒歩7分
- 春明経由/江南駅行き 春明下車 徒歩5分

2025 夏 No.180

学び楽しさ
夢見る未来
一宮市立一宮図書館プラネタリウム

放映期間

5月/31(土)～8月/31(日)

プラネタリウム



みんなで宇宙を見に行こう!

© 藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK

一宮地域文化広場 プラネタリウム館



この星図は、南を向いて星空を仰いだようになっていました。みなさんが、北を向いて星空を仰ぐときは、この星座の北を下にすると見やすくなります。

☀ 1等星以上 ★ 2等星 ● 3等星以下
○ 変光星 ○ 銀河 ☁ 星雲
6月なかば→24時 7月なかば→22時 8月なかば→20時

プラネタリウム

★星空さんぽ★

暑い夏の日も終わり、涼しい夜風を肌に心地よく受けながらながめる星空は、格別楽しいものです。

まず、南を向いて頭上やや東よりの空を見上げてください。三つの明るい星が大きな三角形を作っています。これが**夏の三大角**と言われる星々です。その中で一番高く昇り、一番明るく輝く青白い星が七タのおりひめ星、**こと座のベガ(0等星)**です。こと座は、夏の夜、ちょうど頭の真上に見える小さな星座ですが、明るいベガと平行四辺形の星のならびが目につき見つけやすい星座です。その東側やや南にベガと向かいあって輝く白い星が七タのひこ星、**わし座のアルタイル(1等星)**です。この二つの間に淡く帯のように天の川が流れています。でも、空の明るい一宮ではなかなかながめることができません。もう一つ、天の川の中に輝く星が**はくちょう座のデネブ(1等星)**です。右図で三つの星を結んでみましょう。

今度は天の川にそって南へさがっていくと赤い星を含む十数個の星が大きなS字のカーブを描くのが**さそり座**です。赤い星は**アンタレス(1等星)**でさそりの心臓にあたります。真南の水平線の近くの**南斗六星**を含む明るい星々が**いて座**です。この星座は、上半身が人間で、下半身が馬という少し変わった形をしています。そのほか、**ヘルクレス座**、**へびつかい座**、**てんびん座**などいろいろな星座が夏の夜空を飾っています。どれくらい探せるか挑戦してみましょう。

夏の三大角をさがしてみよう!



天文現象

● 上弦の月 ● 満月 ● 下弦の月 ● 新月

2025 6月

3日 ● 11日 ○ 19日 ● 25日 ● 二十四節気(5日芒種・21日夏至)
【1日 金星が西方最大離角】【29日 月と火星とレグルスが接近】

2025 7月

3日 ● 11日 ○ 18日 ● 25日 ● 二十四節気(7日小暑・22日大暑)
【4日 水星が東方最大離角】【31日 みずがめ座δ(デルタ)南流星群が極大】

2025 8月

1日・31日 ● 9日 ○ 16日 ● 23日 ● 二十四節気(7日立秋・23日処暑)
【13日 ベルセウス座流星群が極大】【19日 水星が西方最大離角】

プラネタリウム
ドラえもん 宇宙の模型



©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK

みんなで宇宙を見に行こう!

スネ夫からハワイで見た満天の星に感動したという自慢話を聞いたのび太たち。満天の星を見た事が無いのび太は悔しがり、ドラえもん相談すると、室内にいながら旅行気分が味わえるひみつ道具「室内旅行機」を取り出し、のび太の部屋にハワイの満天の星を映し出してくれました。ドラえもんから、人は太古の昔から星空を見て、それぞれに思いを巡らし、宇宙を理解しようとさまざまな「宇宙の模型」が作られてきたという話を聞きます。宇宙の姿を確かめるために、マイクロコピーで本物の宇宙を完全に再現している「天球儀」の中へ入るのび太たち。宇宙船に乗って宇宙旅行に出かけるも、ブラックホールへと近づきすぎてしまい吸い寄せられそうに!のび太たちは無事に地球に戻ることができるでしょうか!?

日曜日の星空案内

毎週日曜日の午前11時の放映は、スタッフが今夜の見どころなどを生解説でご案内します。ドラえもんの番組とあわせてご覧ください。